



日時: 2023年**9月4日**(月) 18:30~19:30

講演1 18:30~19:00

末梢動脈疾患に対する治療戦略 -ガイドラインと実臨床



演者 **飯田 修 先生** 大阪警察病院 循環器内科部長

下肢閉塞性動脈疾患 (LEAD: lower extremity arterial disease)は全世界で増加傾向である。症候性LEADに対する第一選択治療は、診療ガイドラインに基づく薬物治療 (GDMT: guideline-directed medical therapy) と運動療法 (間欠性跛行に限定) であるが、症状改善が乏しい症例に対して血行再建術が推奨される。本疾患は2022年に日本循環器学会から新しいガイドラインの発刊、またそれ以降に新規抗凝固薬や血管内治療デバイスが承認され、今まさに本疾患に対する治療戦略が大きく変わろうとしている。今回の発表にて、最新のガイドライン、新規薬剤・デバイス・エビデンス現状を加え発表する。

講演2 19:00~19:30

下肢バイパス術後の薬物療法 (抗血小板療法と抗凝固療法) をどうする？



演者 **重松 邦広 先生** 国際医療福祉大学医学部
血管外科学 教授

PADに対する血行再建において、鼠径靱帯以下のバイパス術、特に自家静脈を代用血管として用いた場合には、その遠隔成績において良好な成績をしめし、durabilityにおいて追従を許さない。しかしながら、術後サーベイランスで閉塞性病変の進行をチェックしながらも、急性閉塞をきたしALIとしての治療を必要とする症例も認められる。今回バイパス術後イベントを回避するための薬物療法 (抗血小板療法と抗凝固療法) について考えたい。

Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。お寄せいただいた質問は講演の最後に直接ご回答をいただく予定です。

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。▶

PP-XAR-JP-3972-12-07

主 催: バイエル薬品株式会社